

11月臨時会
12月定例会

11月臨時市議会

明石駅前南地区再開発計画の賛否を問う

住民投票条例案を否決

11月臨時市議会が11月19日から22日までの4日間の会期で開かれ、明石駅前南地区再開発計画に関する明石市住民投票条例案を否決しました。また、12月定例会市議会が12月3日から21日までの19日間の会期で開かれ、明石市道路構造の技術的基準等を定める条例や兵庫県高等学校の通学区域再編に関する意見書など、議案24件を可決、報告2件を了承、請願1件を一部採択しました。



新春
明石海峡に日が昇る

明石浦漁港から見た日の出。明石海峡では夜明け前からたくさんの漁船が操業している。

2万196人の市民の署名を受け、市長から提出された明石駅前南地区再開発計画に関する明石市住民投票条例案を審議するため、平成24年11月19日から22日まで臨時市議会を開会し、慎重審議の結果、条例案は賛成少数で否決となりました。

本計画は中心市街地の活性化を目的に再開発ビルの建設と明石駅前広場を再整備するため、20年度から官民協働で進められてきました。これに対して計画に反対する市民団体などは、本計画はまちづくりと市の財政に重要な影響をもたらす恐れがあり、市民の多数は批判的で税金の無駄遣いだとして、計画の賛否を問う住民投票の実施を求めて署名活動を行い、地方自治法に基づき住民投票条例の制定を市長に直接請求しました。これを受けて市長は、再開発計画の推進と住民投票の実施について、両方とも賛成するとの意見書をつけて条例案を市議会に提出しました。

11月20日の本会議では条例制定の請求代表者が住民投票の必要性について意見陳述を行った後、5名の議員が質問に立ち、市の見解を求めました。その後の建設企業常任委員会では、市民の署名の重みや熱意は理解するが、再開発計画はすでに組合が設立されるなど着実に推進されており、もはや住民投票を実施する段階ではないとの意見が多く、条例案を全会一致で否決しました。

22日の本会議では、住民投票条例案に賛成と反対の立場から8名の議員が討論を行いました。賛成の議員からは、再開発計画は巨額の税金を使う事業で将来にわたり市に重大な影響を及ぼすと考えられることや、本市の自治基本条例の趣旨から住民投票を実施すべきであるとの意見が表明されました。一方、反対の議員からは、再開発計画は十分に市民の意見を聞きながら進めており、9月議会では事業推進に関する請願を賛成多数で採択するなど、その是非についてはすでに議論が尽くされ、現段階での住民投票の実施は望ましくないと意見が表明されました。採決の結果、住民投票条例案は賛成少数で否決となりました。

市民の負託に応えるために さらなる議会活性化めざす



明石市議会議長
尾仲 利治

皆さまにおかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えられたこととお喜び申し上げます。

地方分権の進展に伴い、明石市は自己決定と自己責任のもと、その特性を生かした魅力あるまちづくりを進めていかなければなりません。

そのため、市議会では議会の役割や責務、活動原則を定める議会基本条例を平成25年度に制定することを

目指し、現在検討を重ねております。この条例は、市議会のさらなる活性化を促し、市政の発展と市民福祉の向上を図ることを目的とするものです。昨年は、議会活性化の取り組みの一環として、議会報告会を1月と11月に実施し、市民の皆さまから市政に対する多くの意見や、市議会への叱咤激励をいただいたところです。今後とも市民の皆さまの負託に応え、多くの声を市政に反映させるために政策立案能力を高めるなど、引き続き努力を積み重ねてまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

本年が皆さまにとりまして、健康で喜びと幸せに満ちた年となりますよう、心から祈念申し上げます。

謹賀新年

- 政和会 樽谷彰人 辰口浩司 坂西光男 大西洋紀 出雲晶三 井藤圭湍 公明党 尾倉あき子 国出拓志 絹川和之 佐々木久美子 松井久美子 梅田宏希 真誠会 寺好吉 三原成宏 山崎雄史 深山昌明 市民クラブ 北川貴則 永井俊作 遠藤恒司 次世代明石 中西礼彦 中田正皇 新田康子 木下康子 民主連合 宮坂祐太 富田賢治 尾仲利治 日本共産党 西川あゆみ 楠本美紀 辻本達也 日本創新党明石 千住啓介 (会派別・議席順)
- 市議会議員は公職選挙法で年賀状や寄附、祝いなどは禁止されています。皆さまのご理解をお願い申し上げます。